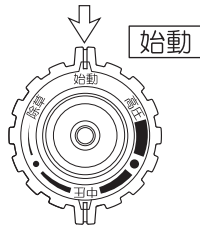


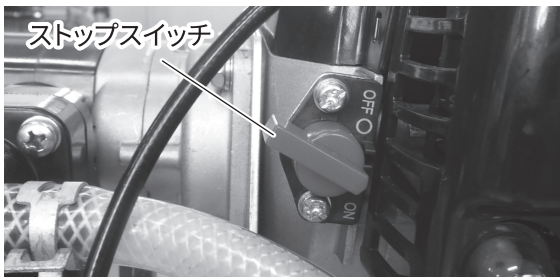
エンジンの始動方法

KOSHIN
ES-T シリーズ

1. 調圧ハンドルを「始動」にする

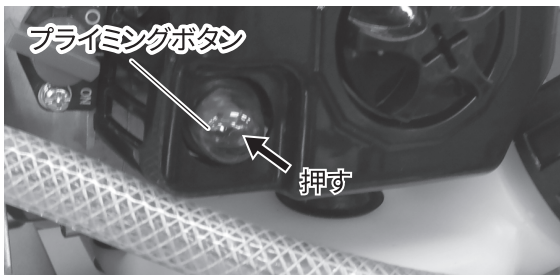


2. ストップスイッチを「ON」にする



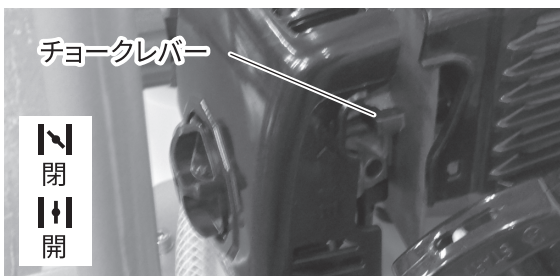
3. プライミングポンプを10回押す

燃料戻しチューブ内にガソリンが移動するまで、
プライミングボタンを繰り返し押します。

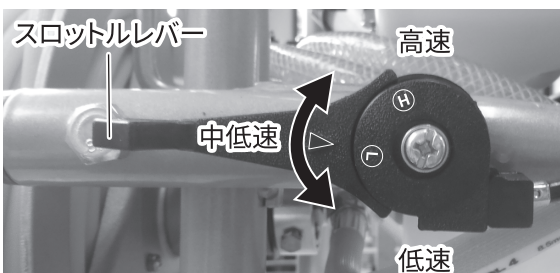


3. チョークレバーを上側(閉)にする

エンジンが温まっている場合や、夏期はチョーク
レバーを下側(開)にします。



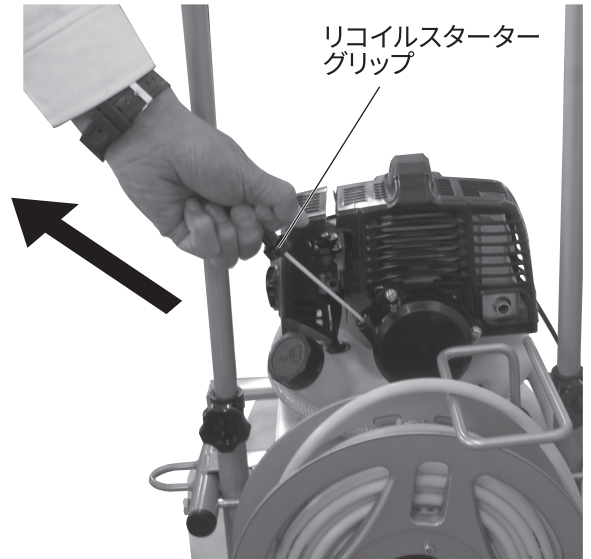
4. スロットルレバーを「中低速」にする



5. リコイルスターターグリップを引く

本機をしっかり押さえ、リコイルスターターノブを
引いてエンジンを始動します。

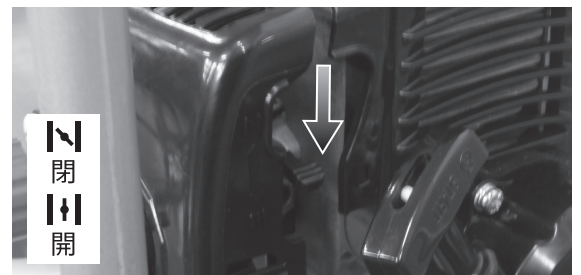
※このリコイルは、ゆっくり引いても始動します。
強く引きすぎるとひもが切れたり故障の原因と
なりますので強く引きすぎないでください。



リコイルスターターノブを4~5回引いても始動し
ない場合は、チョークを下側(開)にし、リコイ
ルスターターグリップを引いてください。
それでも始動しない場合は、チョークレバーやス
ロットルレバーの位置を変えて、繰り返ししてくだ
さい。

6. チョークレバーをゆっくりと下側(開)にする

エンジンが始動したら、チョークレバーをゆっくり
動かしてください。

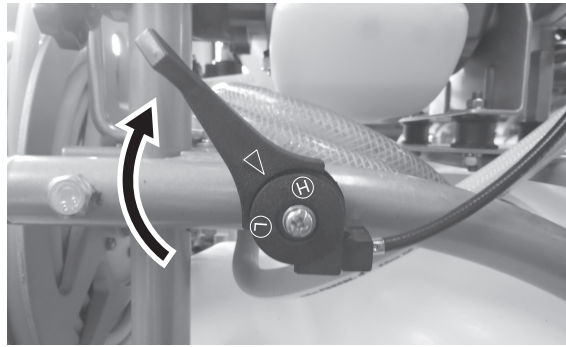


裏面もご覧ください

噴霧方法

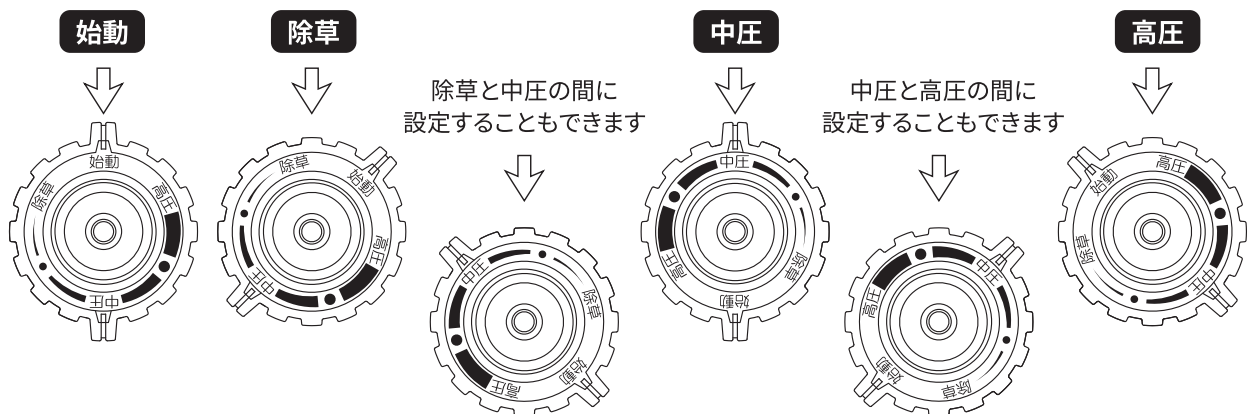
1. エンジン始動後、スロットルレバーを高速にする

エンジンを低速(アイドリング)で5分以上運転しないでください。
クラッチが故障の原因になります。
5分以上放置されるときは、必ずエンジンを停止させてください。



2. 噴口から吐出していることを確認する

3. 調圧ハンドルを回し、作業条件にあった圧力の設定をする



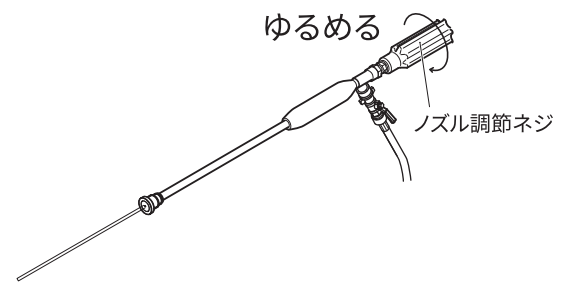
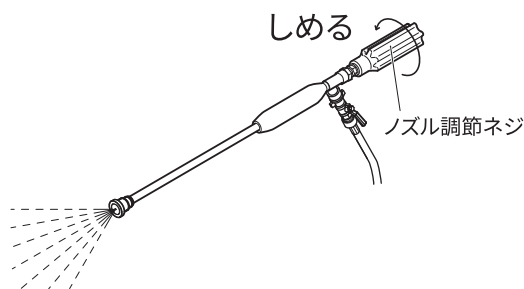
4. 噴霧を調節する

【広範囲に散布するとき】

- ノズル調節ネジを右に締めると直射から噴霧になります。
- ノズル調節ネジを右に一杯回すと締め切り状態になります。

【遠くへ飛ばすとき】

- ノズル調節ネジを左にゆるめると噴霧から直射になります。



長くお使いいただくために

⊘ 空運転禁止

エンジン始動前にタンク内に薬液または水が入っていることを確認してください。
故障の原因となります。